

R6. 6. 24 更新

愛知県立中高一貫校 全併設中学校 共通 Q & A

1 教育内容

Q1-1：授業時間数が増える教科がありますか。

A1-1：増える教科もあります。増える教科、増える時間数は、導入校によって異なります。

[2023年度秋に行った説明会の内容や各校Q&Aをご覧ください。](#)

Q1-2：海外研修はありますか。

A1-2：各学校で検討中です。

Q1-3：外国語について、どのような力を備えておくといいですか。

A1-3：小学校の「外国語活動・外国語」の授業で身に付けてきた力を大切にしていきます。

Q1-4：定期テストはありますか。

A1-4：各学校で検討中です。

Q1-5：中高一貫校は、一般的な中学校に比べて授業の進度が早くなるようですが、愛知県の中高一貫校は、どうなりますか。

A1-5：大学受験を念頭に授業の進度を早めたり、先取り学習をしたりすることはありません。探究的な学習をすすめる中で、高度な内容を身に付けることはあります。

Q1-6：教科書はどんなものを使用しますか。

A1-6：文部科学省の検定教科書を使用します。

Q1-7：探究学習を重視した場合、その教科の基本的な知識は身に付きますか。

A1-7：探究的な学習をすすめる中で、基礎的な知識や技能を身に付けていくことが必要となります。探究的な学習と基礎的な学習を分けず、すべての教科でお互いに補完しながら進めていきます。

2 学校生活

Q2-1：1クラスの人数は何人ですか。

A2-1：1クラスは40人です。なお、明和中学校の音楽コースは、1クラス20人です。

Q2-2：市町村立中学校との大きな違いは何ですか。

A2-2：併設する高校と同じ敷地内で生活することにより、学習面や生活面等で、高校生から様々な刺激を受けられることが大きな違いです。また、中高6年間を見通し、長い目で生徒の成長を見守り、支えていくことができます。

Q2-3：中高一貫校に入学する子どものメリットは何ですか。

A2-3：中高一貫教育校で学びたいという強い意志をもって入学した生徒同士が、互いに切磋琢磨しながら時間的余裕を活用することにより、学力や個性、創造性等を伸ばすことができます。また、幅広い年齢層の生徒とのかかわりを通して、豊かな人間性を育成することができます。

Q2-4：部活動はできますか？

A2-4：導入校の部活動の在り方については、現在検討中です。

Q2-5：学校行事や授業参観、保護者会等はその様に行われますか？

A2-5：各学校で検討中です。

Q2-6：自転車通学について決まっていることはありますか？

A2-6：導入校ごとに決めています。[2023年度秋に行った説明会の内容や各校Q&Aをご覧ください。](#)

Q2-7：制服や授業での服装についての規定はありますか。

A2-7：導入校ごとに決めています。[2023年度秋に行った説明会の内容や各校Q&Aをご覧ください。](#)

3 転学等

Q3-1：入学後になじめなかった場合のケアは、どうなっているのでしょうか。

A3-1：定期的な面談や、スクールカウンセラーとの連携など、生徒の心のケアに細心の注意を払っていきます。

Q3-2：在学中に海外への転居が決まった場合等の、休学や復学の扱いはどうなっていますか。

A3-2：休学・復学の扱いについては、今後検討し、規定を定めます。

Q3-3：中学在籍中に外部の中学校への転学はできますか。

A3-3：やむを得ない場合は可能ですが、愛知県が導入する中高一貫校は、中高6年間の継続した学びができることが特徴です。そのため、原則、6年間の学びをしていくことを求めます。出願時にご家庭でよく話し合っていたいただいた上で出願してください。

4 進学等

Q4-1：併設中学校からの内進生と、高校入試を経て入学してくる高入生は、混合クラスになりますか。

A4-1：高校のクラス編成は現在検討中ですが、高校卒業時まで目指す生徒像は、内進生も高入生も同じです。内進生と高入生が互いに切磋琢磨しながら、学力や個性、創造性等を伸ばしていきます。

Q4-2：中高一貫校で6年間学んだあとの、大学受験は大丈夫でしょうか。

A4-2：大学受験は、高校卒業後の選択肢の一つです。中高一貫校の6年間で、広い視野で将来を考え、社会で活躍できるチェンジ・メーカーの育成を目指します。

Q4-3：中高一貫校ですが、高校進学時に他の高校を受験することは可能ですか。

A4-3：併設型中学校では、6年間の計画的・継続的な教育を行うことを想定しています。

5 教員配置

Q5-1：附属中学校で教える教員は、どのような方でしょうか。

A5-1：現在小中学校及び高等学校で勤務している教員のうち、中学校免許をもった者が配置されます。

Q5-2：附属中学校で教える教員が、探究学習を重視した授業について研修する機会がありますか。

A5-2：好事例校の資料を活用した研修や、外部講師による研修等を行っていく予定です。

6 入学者選抜

Q6-1：適性検査における選択式の問題で思考力等をどのように測りますか。

A6-1：特に次のような点に留意して作問を工夫します。

- ・複数のテキストや資料を提示し、必要な情報を組み合わせ思考・判断させる
- ・学んだ内容を日常生活と結びつけて考えさせる
- ・複数の教科が組み合わせられた内容とする など

Q6-2：障害等のある児童に対する配慮はありますか。

A6-2：受験上の配慮を申請することができます。そのことにより合否に影響が出ることはありません。

Q6-3：他の国立中学校や私立中学校との併願は可能ですか。

A6-3：国立、私立と併願することは可能ですが、相手の学校の受験要項等を確認してください。入学確約書提出後の入学辞退は、保護者の転勤などやむを得ない場合を除き、原則として認められません。

Q6-4：合否判定は、どのように行われますか。何か特別な活動をしておいた方が有利になりますか。

A6-4：最終合格者は、適性検査と面接の結果に基づき、総合的に判断して決定します。

Q6-5：他県から愛知県に転居する予定ですが出願できますか。

A6-5：入学式の前日までに、愛知県内に保護者とともに確実に居住する場合に出願できます。

Q6-6：海外の現地校に通っており、通知表がないので写しを提出することができませんが、どうしたらよいのでしょうか。

A6-6：通知表の写しは面接の参考としますが、選抜の資料とはしませんので、通知表がない場合は提出していただく必要はありません。なお、このことにより合否に影響が出ることはありません。

Q6-7：車椅子の子供の受け入れは可能ですか。

A6-7：可能です。付き添いや介助者の受け入れについては個別にご相談いただくこととなります。

Q6-8:日本のインターナショナルスクールに通っています。通知表の写しは何を提出すればよいでしょうか。

A6-8:愛知県教育委員会 あいちの学び推進課 中高一貫教育室にお問い合わせください。

7 家庭・保護者に関すること

Q7-1:教材費や行事の積立金等は、どうなりますか。

A7-1:現在各学校で検討中です。附属中学校の諸経費については、近隣の市町村立中学校に比べて増額する可能性があります。

Q7-2:PTA活動について決まっていることはありますか。

A7-2:各学校で検討中です。

この他、お困りのことがありましたら「愛知県教育委員会 あいちの学び推進課 中高一貫教育室」までお問い合わせください。

〒460-8534 名古屋市中区三の丸 3-1-2(西庁舎 9階)

Tel:052-954-7432

Fax:052-961-4864